

# HPVワクチンについて

HPV感染症は、性行為によって男女間で感染を繰り返すため、男女にワクチンを接種することで感染の拡大を抑えることができます。

男性がワクチン接種による感染予防をすることで、性行為によるHPV感染からパートナーを守り、子宮頸がんの予防にもつながります。

パートナーの健康と命を守ることができるだけでなく、HPVの感染により発症するリスクのある、咽頭・肛門・陰茎がん、尖圭コンジローマの発症の予防効果が得られます。



## ヒトパピローマウイルス（HPV）とは？

HPVは、主に性行為によって感染するウイルスです。性行為を経験する年頃になれば、男女を問わず多くの方がHPVに感染します。

ウイルスの遺伝子型は200種類以上あり、その一部は子宮頸がん、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマ等疾患の原因になることが分かっています。



## 予防接種

## 接種スケジュール

小学6年生以上の者を対象に合計3回の接種を行います。

初回接種から2か月後と6か月後に追加接種を受けるのが一般的です。

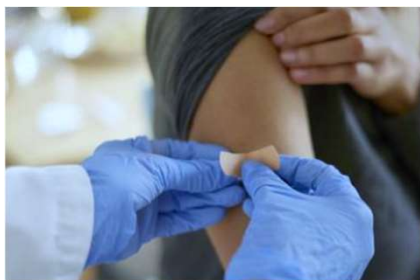
（1か月以上の間隔において2回注射した後、2回目の注射から3か月以上の間隔において3回目を注射する。）



## 男性のHPVワクチン接種の効果

中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの原因と考えられているHPVへの感染予防が期待できます。

また、男性がワクチン接種による感染予防をすることで、性交渉によるHPV感染から女性を守り、子宮頸がんの予防にも繋がります。



## ワクチンの副反応

HPVワクチンの接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。

稀ですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こる場合があります。



## ご予約はこちらから

ご予約・お問い合わせなど、お気軽にご連絡ください。

**TEL 026-217-3861**

平日8:30~17:30 / 土曜日8:30~12:15

